

令和6年度第2回学校運営協議会議事録

さいたま市立上大久保中学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和6年12月18日(水) 14:30～16:05
[場所] 上大久保中学校会議室

- 2 出席 会長 田澤 崇 (さいたま市立上大久保中学校PTA会長)
副会長 南 崇子 (大久保東公民館長)
委員 市原 重行 (民生委員児童委員)
小室 美香 (大久保東児童センター館長)
目黒 良作 (さいたま市立大久保東小学校校長)
山下 保夫 (さいたま市立栄和小学校校長)
上村 美香 (さいたま市立上大久保中学校前PTA副会長)
高久 正行 (さいたま市立上大久保中学校校長)
佐藤 義将 (さいたま市立上大久保中学校教頭)
神山 徹弥 (さいたま市立上大久保中学校教務主任)
保坂 篤司 (学校地域連携コーディネーター)
生徒 松田 旬平 (生徒会副会長)
榎本空るみ (生徒会書記)
大野 蒼空 (生徒会会計)
欠席 委員 高柳 裕美 (青少年育成大久保地区会理事)
井原光太郎 (土曜チャレンジスクール実行委員長)
宇田 三郎 (上大久保自治協力会会長)
渡部 秀之 (さいたま市防災アドバイザー)

3 次第

- (1) 校長あいさつ
- (2) 開会宣言(会長)
- (3) 学校生活の現状と課題(校長・生徒会長)
- (4) 学校評価アンケートについて(教頭)
- (5) 熟議 テーマ「学校評価を受けて並びに生徒の参画について」
- (6) 意見の申出等
- (7) 本日のまとめ(副会長)
- (8) 事務連絡
- (9) 閉会宣言(会長)

4 議事概要

(1) 学校生活の現状と課題 (校長・生徒会副会長)

○校長より

- ・コロナ禍を終え、生徒が地域で活躍できる機会を作っていきたい。
- ・防災を柱として、地域のボランティアや避難訓練の生徒参加を呼び掛けてきた。

○生徒会副会長より ※生徒会長不在のため副会長より

- ・上大久保中学校生徒会は、「あいさつ運動」に力を入れている。
- ・上中生は、体育祭や合唱コンクールに全力で取り組んだ。

(2) 学校評価アンケートについて (教頭)

- ・保護者アンケートの集計を見ると、学習面での課題を感じている割合が多い。
- ・生徒アンケートでは、92%の生徒が「すすんであいさつができています」と回答しているが、地域アンケートでは30%の方があいさつをされていると感じていないことが分かる。
- ・地域アンケートの結果では、多くの項目で「分からない・答えられない」と回答した方が10～25%を占めていることより、学校での取組について、地域の方に周知できていないと考えられる。

○地域代表：市原委員より

集計結果より、地域ではすすんであいさつをしていると感じていない方が多い。生徒たちはあいさつをしていると思っていても、それは主に学校内のことではないか。

(3) 熟議

2つのグループに分け、学校評価の結果について意見を出し合い、さらにテーマに沿って、学校・家庭・地域がより連携を深めるために何をすれば良いかについて、熟議を行った。

テーマ「学校評価を受けて並びに生徒の参画について」

～学校・家庭・地域がより連携を深めるために～

○あいさつについて

- ・学校評価アンケート結果では、保護者・生徒の数値は高いが、地域の方の受け止め方は、低い数値がでている。
- ・参加生徒意見…地域でもあいさつをしている。
- ・より子どもと地域のつながりが必要だと思われる。
- ・不審者問題があるので、知らない人へのあいさつは難しい。
→見守り用のベストを着るなど、大人の工夫も必要である。

○学習について

- ・学校評価アンケート結果では、保護者・生徒の数値が低い。
- ・参加生徒意見…部活動も含めて忙しくて家庭学習ができない。
- ・本人はやっているつもりだが、保護者はもっとやって欲しいと思っている。
- ・地域の人材活用→上チャレ(土曜チャレンジスクール)の利用を推進する。
- ・タブレットを使用した学習方法の工夫に取り組む。
- ・家庭学習については、塾での学習も含まれる・含まれないによって、数値が変わってくるはずなので、アンケートの文言を改めることも検討していく。

○地域行事やボランティア活動への参加について

- ・参加生徒意見…部活動等で予定が合わない。参加するに当たってのメリットがあると、参加への興味が沸く。
- ・小学校とも合わせて、地域行事への参加の推進をしていく。
- ・イベントの広告をSNSで行うことや申込をQRコードの活用により、より中学生が参加申込をしやすい環境を整えることが必要である。

○その他学校評価アンケート結果より

- ・朝食をしっかり食べている割合が9割あったので、安心した。
- ・楽しく登校できている割合が高く、生徒が学校のことが好きなことが分かる。

○今後の方向性

- ・生徒会本部役員による地域との連携について検討する等、学校と地域の関わりを増やしていく。
- ・小学校とも連携し、学習への取組について推進していく。
- ・地域行事やイベントで、中学生がより興味をもつような広報をしていく。

(4) 意見の申出等無し

(5) 本日のまとめ(副会長)

より一層、学校・家庭・地域で連携していけるように、子どもたちが興味をもつ行事を考え、地域に参加しやすくなるように、寄り添っていきたい。

家庭と学校が縦と横で繋がっている中、地域がその間の斜めに入り、家庭と学校をさらに繋げる役割ができればとよい。

5 次回開催予定〔日時〕令和7年2月21日(金)午前

〔場所〕上大久保中学校会議室